

アートとして再生される空間

津奈木町立赤崎小学校再生プロジェクト

榎原 徹 建築学部建築デザイン学科教授

キーワード: 保存再生、リノベーション、アートツーリズム

概要

現代アーティスト・柳幸典氏と共同で設計しているプロジェクトである。2010年3月に廃校となった津奈木町立赤崎小学校のスイミングプールとその付随施設を芸術体験が出来る宿泊施設としてリノベーションするプロジェクトで、海に浮かぶように建設された赤崎小学校のエリア全体をアートで再構成する構想の核となるプロジェクトである。

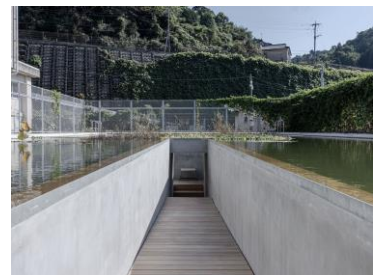
赤崎小学校が面する不知火海は、かつて高度経済成長期の大規模な工業災害の暴力にさらされた海であった。その海を見るための特別な空間を有するこの宿泊施設は、津奈木町の未来を担う子供たちを育てて来たスイミングプールを再活用することで、小さな動植物たちの箱庭的生息空間を育てると同時に自然環境の壊れやすさについて体感してもらうための装置としても機能するように設計されている。

アピールポイント

廃校となった小学校プールをアート体験宿泊施設として再生したプロジェクトである。更衣室などを応接・キッチン・ダイニングとして、ポンプ室などを寝室としてリノベーションしている。プールはビオトープ(動植物の生息環境)として再生しており多様な植物を植えたラグーンジオフィルターが循環する水を浄化する。スロープを使って水面下に下り、中央に設けられた浮島を水面から観察する。

利用・用途 応用分野

現在、赤崎小学校再生プロジェクトは次の段階を迎え、学校のグラウンドをトイレや火除け屋根を備えた地域の広場としての再生を計画中である。今後、既存校舎や体育館の利活用も検討され、学校全体が地域の拠点施設に生まれ変わることが期待される。



左: プール全景、右上: 更衣室を改装した客室、右下: 水面下に下降するスロープ

関連情報

● 関連 URL 榎原徹建築設計事務所:
つなぎ美術館 入魂の宿:

<https://toroid.jp/20210304/>

<https://www.tsunagi-art.jp/nyukon/>

工学院大学 産学連携室

〒163-8677 東京都新宿区西新宿一丁目24番2号 〒192-0015 東京都八王子市中野町2665-1
TEL:03-3340-0398 FAX:03-3342-5304 TEL:042-628-4928 FAX:042-626-6726
E-Mail: sangaku@sc.kogakuin.ac.jp URL: <https://www.kogakuin.ac.jp>